

報道ご関係者各位

～小学生が社長になってぼうし屋さんの経営を体験～ 第5回「マニライフCAPS(キャップス)経営コンテスト2010」

**東海予選は6年生チームが優勝！
12月5日 東京開催の決勝戦に臨みます！**

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
マニライフ生命保険株式会社
社会福祉法人中央共同募金会

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（本部：東京都港区、理事長 椎名武雄）主催、社会福祉法人中央共同募金会（会長 斎藤十郎）協力、マニライフ生命保険株式会社（本社：東京都調布市、社長兼CEOクレイグ・ブロムリー）特別協賛による、第5回「マニライフCAPS経営コンテスト2010」の東海地区予選が、11月6日（日）、名古屋にて行われました。

同コンテストは、ジュニア・アチーブメントが小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラム「CAPS」をコンテスト形式で行うものです。小学4年生～6年生の子ども達が、初対面のチームメンバーと仮定の帽子屋さんを経営します。ディスカッションを繰り返しながら、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費等を決め、売上げ増大をはかり、最終的には累計利益で業績を競い合います。

2006年の実施以来、参加者および関係者の皆様から高い評価を頂いている同コンテストは、回を重ね今年で5回目を迎えました。関東・東海・関西に加えて今年は新たに九州においても地区予選が開催され、子供たちがわくわく、楽しく体験的に学ぶ機会を広げています。

今回の東海予選では、計21名の児童が参加し、5チームに分かれ競い合いました。初対面のチームメンバーに始めは戸惑っていた様子の子ども達も、話し合いを繰り返す中で仲良くなり、大人顔負けの意見交換も見受けられるレベルの高い話し合いが展開されました。最も好業績をあげた6年生4名のチーム（チーム名：BOUSHIYA）が見事優勝を飾り、九州地区予選、関西地区予選、関東地区予選の各勝者と共に、12月5日（日）に東京調布（マニライフ生命本社）で開催される決勝戦に臨みます。

優勝したBOUSHIYAチームは、次のようにコメントしています。「買い手の気持ちになって考えた。他のチームが全体的に帽子の値段を下げていたので値段を下げる作戦にした。去年も参加して、去年は優勝できなかったから、今回優勝できて嬉しいです。」



話し合いに熱が入る子ども達



優勝したBOUSHIYAチーム

「マニユライフCAPSコンテスト2010」概要

◆主催およびプログラム提供／公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本

◆特別協賛／マニユライフ生命保険株式会社

◆協力／社会福祉法人中央共同募金会

◆地区予選スケジュール

■九州地区予選	2010年10月31日(日)	10:30~15:30
■東海地区予選	2010年11月6日(土)	同上
■関西地区予選	2010年11月7日(日)	同上
■関東地区予選	2010年11月14日(日)	同上

各地区予選上位のチームは、東京開催の決勝戦にご参加いただきます。

決勝戦 概要

◆開催日時／2010年12月5日(日)

◆会場／マニユライフ生命保険株式会社本社 (東京都調布市国領4-34-1)

<ご参考>

◆参加資格および募集人数

小学校4~6年生の男女。お友達と2人、ペアを組んで申込み。(同じ学校でも違う学校のお友達同士でも可) 定員：関西・関東地区各64名(32ペア)、九州・東海地区各32名(16ペア)

◆対戦方法

地区予選当日、くじ引きで2ペアを組み合わせて4名から成る1チームを編成。対戦はチーム対チームで行ない、決勝戦に進出した場合は予選時のチームでそのまま参加。地区予選では、午前中プログラムの説明会を実施し、午後からコンテスト形式になりますので、初めてCAPSを体験する方でもご参加いただけます。

◆地区予選アワード(チームメンバー全員に進呈)

優勝チーム：3,000円&下記決勝戦にご招待、準優勝2,000円、3位図書券1,000円
参加賞：修了証と記念品

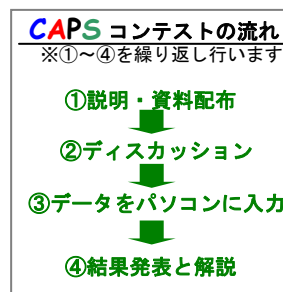
◆決勝戦アワード(チームメンバー全員に進呈)

決勝戦優勝チーム：表彰状と図書カード20,000円分、準優勝表彰状と図書カード10,000円分、3位表彰状と図書カード5,000円分、4~8位表彰状と図書カード2,000円分

◆『CAPS』プログラムについて

CAPSは、世界最大の民間の非営利経済教育団体、ジュニア・アチーブメント(JA)が小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラムです。

CAPSでは、チームメンバーがディスカッションしながら、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費、ぼうしにしゅうを入れるのにどの機械をレンタルするかなどを決めて、パソコンに入力します。全チームの入力が済むと、各チームの業績が出され、それをもとにまた次期の戦略を決め、またその業績が出されるという実習を繰り返していきます。



なお、この「CAPS」プログラムは、学校の授業での使用を前提に、マニユライフ生命の特別協賛により学校向けに無償提供されるものです。本来の目的は、参加した子ども達に、実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇気、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。

ジュニア・アチーブメント日本では、『マニユライフCAPS経営コンテスト』開催を契機に、さらに本プログラムの普及促進を図っていく考えです。

ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。

社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適応できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界 22 ヶ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは 120 年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客様に経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年6月30日現在 4,540 億カナダドル（4,280 億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）

中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国 47 都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHK との共催による「NHK 歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。